

令和7年11月10日

九州工業大学・東京科学大学 環境・社会理工学院 大橋研究室
(株)TriOrb・(株)みらいリレーションズ

**トランジションデザインワークショップ：次世代モノづくり
～人とロボットが協調する新しいサプライチェーンへ～
事前インタビュー及び当日ご出席のお願い**

拝啓 拝啓 貴社ますますご発展のこととお喜び申し上げます。平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、東京科学大学 大橋研究室では、「次世代モノづくり ～人とロボットが協調する新しいサプライチェーン～」をテーマに、下記の通りワークショップを開催いたします。

■ 開催の趣旨

いま、製造業を取り巻く環境は大きく変わりつつあります。大量生産モデルの限界、技能伝承の危機、サプライチェーンの再構築。これらの課題に共通しているのは、「これまでの仕組みのままでは対応できない」という点です。一方で、AI・ロボティクス・デジタル技術の進化により、人と機械が協調しながら、少量多品種・分散連携型の生産を実現する新たな可能性が広がっています。このワークショップは、こうした変化をチャンスと捉え、スタートアップ・自治体・中堅企業・研究者が一堂に会し、「次の製造と消費のプロセス」を共に設計する場として企画いたしました。

■ 目指すもの

「人とロボットの協働」をキーワードに、スタートアップや研究者が中心となり、現場の知見をもつ企業・自治体と連携して、新しい"製造プロセス"と"消費プロセス"を共に組み上げていきます。これまでの系列構造や分業の枠を越え、AI・ロボティクス・デジタル技術を媒介に、人・企業・地域が共に試行錯誤しながら、"つくる・使う・直す・循環させる"がつながった新しいモノづくりの流れをデザインします。その結果として、変化に強く、価値が循環するサプライチェーンが生まれていく。それが、本ワークショップの描く「トランジションデザイン」の姿です。

■ 本ワークショップの位置づけ

本取組は、経済産業省「令和7年度 基盤的共同研究開発に関するオープン＆クローズ戦略策定の推進・体制整備強化に向けた実証調査事業」に採択された研究の一環として実施します。単なる技術導入や事例共有に留まらず、「産業構造そのものの再設計」＝社会実装型の研究開発プロジェクトとして進めていくことを目指しています。

本ワークショップでは、アカデミア・企業・自治体など多様な立場の参加者が集い、技術導入に留まらない構造転換のデザインを議論してまいります。ご多忙のところ大変恐縮ではございますが、貴重なご意見を賜りたく存じます。何卒ご出席のほどよろしくお願い申し上げます。

敬具

1. 日程

事前インタビュー：個別に日程調整の上、オンラインで実施させていただきます（所要時間：1時間）

ワークショップ当日：2026年1月20日（火） 10:15～18:15（終了後、懇親会を予定）

2. 場所

九州工業大学（福岡県北九州市戸畑区仙水町 1－1 GYMLABO）

アクセス：<https://www.gymlabo.kyutech.jp/access/>

3. ワークショップ概要

- ・イントロダクションおよびアイスブレイク
- ・問題構造の共通理解
- ・未来シナリオ策定
- ・変革を実現するための戦略策定

参考：過去 WS 動画 <https://drive.google.com/file/d/1BMcYGezDtDAIexKLuL7f0Z0qRmayIE4B/view?usp=sharing>

4. 参加者（30名程度）

大手企業、アカデミア、行政、VC・金融、スタートアップ、九州モノづくり関連企業など、関連分野のリーダー・実践者の方々

5. 謝金・交通費

誠に恐縮ではございますが、謝金のご用意はございません。参加者の皆様には、交通費として一律 3,000 円をお支払いいたします。なお、遠方からお越しになるなど、3,000 円を超える交通費が発生する場合は、本プロジェクトの出張旅費規定に基づき交通費（実費）や宿泊費（上限 15,000 円）等をお支払いいたしますので、事前にご相談くださいますようお願い申し上げます。ただし、精算の際には、領収書等の事実証明を必要となりますので予めご了承ください。

6. 主催/共催

株式会社 TriOrb・株式会社みらいリレーションズ

／九州工業大学・東京科学大学 環境・社会理工学院（大橋研究室）

ご不明な点等ございましたら、遠慮なくお知らせください。以上、お忙しいところ大変恐縮ですが、ぜひご検討いただけたら幸いです。

以上